

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【公開番号】特開2014-171513(P2014-171513A)

【公開日】平成26年9月22日 (2014.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-051

【出願番号】特願2013-44294(P2013-44294)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0245 (2006.01)

A 6 1 B 5/02 (2006.01)

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 2 0 F

A 6 1 B 5/02 3 1 0 C

A 6 1 B 5/10 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月26日 (2016.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体の脈波信号を検出する脈波信号検出部と、

前記被検体への前記脈波信号検出部の押圧が、第 1 の押圧状態～第 N（N は 2 以上の整数）の押圧状態であるときの前記脈波信号のレベルの測定処理を行う処理部と、

前記第 1 の押圧状態～前記第 N の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理の結果のうちの、第 1 の測定結果～第 M（M は $M \leq N$ を満たす整数）の測定結果を表示する表示部と、

を含むことを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記表示部は、

前記脈波信号の前記レベルの正規化処理が行われた前記第 1 の測定結果～前記第 M の測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記表示部は、

前記第 1 の測定結果～前記第 M の測定結果のうちの前記レベルの最大値により、前記正規化処理が行われた前記第 1 の測定結果～前記第 M の測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記第 1 の押圧状態～第 i（i は $2 \leq i \leq N$ を満たす整数）の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理の結果が取得され、第 i + 1 の押圧状態～前記第 N の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理の結果が未取得である場合に、

前記表示部は、

前記第 1 の押圧状態～前記第 i の押圧状態での前記測定処理の結果に含まれる前記第 1 の測定結果～第 j (j は $j \leq i$ を満たす整数) の測定結果のうちの前記レベルの最大値により前記正規化処理を行い、前記正規化処理が行われた前記第 1 の測定結果～前記第 j の測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記表示部は、

押圧状態を前記第 $i + 1$ の押圧状態へと変更する指示を行う指示画面を表示し、

前記処理部において、前記第 $i + 1$ の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理が開始された場合には、

前記表示部は、

前記第 1 の測定結果～前記第 j の測定結果とともに、測定処理中の前記第 $i + 1$ の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの暫定測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 6】

請求項 5 において、

前記表示部は、

前記暫定測定結果の表示として、前記第 $i + 1$ の押圧状態での前記脈波信号の変動に対応して変動するアニメーション表示を行うことを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかにおいて、

前記処理部は、

前記第 1 の押圧状態～前記第 N の押圧状態で、前記被検体の姿勢状態が、前記脈波信号の前記測定処理を行う姿勢として適切であるかを判定する判別処理を行い、

前記表示部は、

前記第 1 の押圧状態～前記第 N の押圧状態で、前記姿勢状態の変化に応じて動的に変化する前記姿勢状態通知画像を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 8】

請求項 7 において、

前記表示部は、

前記姿勢状態を表すオブジェクトの表示位置が、前記姿勢状態に応じて変化する画像を、前記姿勢状態通知画像として表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 9】

請求項 8 において、

前記第 1 の押圧状態～第 i (i は $2 \leq i \leq N$ を満たす整数) の押圧状態での前記測定処理の結果が取得され、第 $i + 1$ の押圧状態～前記第 N の押圧状態での前記測定処理の結果が未取得であり、前記第 $i + 1$ の押圧状態において、前記処理部で前記姿勢状態が適切であると判定された場合に、

前記処理部は、

前記第 $i + 1$ の押圧状態での、前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理を開始し、

前記表示部は、

前記第 1 の押圧状態～前記第 i の押圧状態での前記測定処理の結果に含まれる前記第 1 の測定結果～第 j (j は $j \leq i$ を満たす整数) の測定結果、及び測定処理中の前記第 $i + 1$ の押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの暫定測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項 10】

請求項 9 において、

前記第 $i + 1$ の押圧状態において、前記処理部で前記姿勢状態が適切であると判定された場合に、

前記表示部は、

前記姿勢状態が適切である状態に対応する画像中の第1の領域に、前記オブジェクトが表示される画像を、前記姿勢状態通知画像として所与のウェイト時間だけ継続して表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項11】

請求項10において、

前記表示部は、

前記ウェイト時間の経過後に、前記第1の測定結果～前記第jの測定結果、及び前記第i+1の押圧状態での前記暫定測定結果を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項12】

請求項9乃至11のいずれかにおいて、

前記処理部において、前記第i+1の押圧状態での前記測定処理の結果が取得された場合に、

前記表示部は、

押圧状態を第i+2の押圧状態へと変更する指示を行う指示画面を表示し、

前記指示画面に従って前記押圧状態が前記第i+2の押圧状態へと変更された場合に、

前記表示部は、

前記第i+2の押圧状態での前記姿勢状態通知画像を表示することを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項13】

請求項1乃至12のいずれかにおいて、

前記処理部は、

前記第1の押圧状態～前記第Nの押圧状態のうち少なくとも2つの押圧状態において取得された、前記脈波信号の前記測定処理の結果に基づいて、前記被検体に対する前記押圧の適正値を表す適正押圧情報を求める適正押圧情報取得処理を行うことを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項14】

請求項1乃至13のいずれかにおいて、

前記第1の測定結果～前記第Mの測定結果は、前記第1の押圧状態～前記第Nの押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理の結果のうち、少なくとも前記レベルが最大となる測定結果を含むことを特徴とする生体情報検出装置。

【請求項15】

被検体の脈波信号を取得する脈波信号取得部と、

前記被検体への脈波信号検出部の押圧が、第1の押圧状態～第N（Nは2以上の整数）の押圧状態であるときの前記脈波信号のレベルの測定処理を行う処理部と、

前記第1の押圧状態～前記第Nの押圧状態での前記脈波信号の前記レベルの前記測定処理の結果のうちの、第1の測定結果～第M（Mは $M \leq N$ を満たす整数）の測定結果を表示部に表示する制御を行う表示制御部として、

コンピューターを機能させることを特徴とするプログラム。